

漁業における担い手対策について

1. 現状・課題

十勝管内では、秋サケなど主要魚種の漁獲高等が低迷している中、新たな収入確保対策として漁業者は養殖漁業に取り組んでおり、その定着が課題となっている。

また、管内の漁業就業者は減少傾向にあり、担い手の確保も喫緊の課題である。

2. 振興局における事業の概要

管内で養殖漁業の機運が高まる中で、若手漁業者のサクラマス養殖試験など、将来を見据えた取組に対する支援。

また、漁業が職業の一つとして認知されるよう学生・生徒を対象とした出前授業などにより、水産業の魅力等を発信。

3. 令和4年度 of 取組

(1) サクラマス養殖試験への支援

場 所：大樹町 旭浜漁港

実施者：大樹サクラマス養殖事業化研究会（若手漁業者）

内 容：令和2年度から本事業を実施。実施2年目であった昨年度は、順調に成長していたが、赤潮の発生により全滅。

今年度は、ふるさと納税制度を活用した寄付により全国から寄せられた多くの善意を励みに、養殖試験の成功を祈りつつサクラマスの種苗計 2,150 尾を生け簀に投入した。



投入前のサクラマス種苗



サクラマス種苗の生け簀投入

(2) 若手漁業者への意識醸成

赤潮・高水温等の海洋環境の変化に対応するため、国・道の海洋環境、赤潮の専門家を招き、若手漁業者らを対象として海洋環境等について学ぶための講演会を開催予定。

(3) 次代を担う若者を対象に水産業の魅力等を発信

小学生から高校生を対象にして引き続き出前事業を実施予定

4. 漁師プライムセミナーの開催について

講演会「漁師プライムセミナー『～話題の研究で海を解説～』」

開催日時：令和4年6月25日（土）13:30～15:30

場 所：十勝総合振興局 3階 講堂

なお、新型コロナウイルス対策のため Web による配信も検討中